

狩野川ミュージックフェスタ (水辺の音楽祭)

ミュージックフェスタ

団体概要

設 立	2016年4月
理念・ミッション	質の高い音楽演奏を沼津の街中で披露し、それを見に来る人が集うことで街の賑わいをもたらす。演奏するミュージシャンと街中を通る人を音楽で繋ぐ。
活 動 内 容	狩野川 静岡県東部で活躍するプロ、アマチュアミュージシャンの演奏を、一般の人が気軽に楽しめる場を提供する。沼津狩野川水辺のステージで年2回、15組を超すミュージシャンが昼頃から夜半まで次々に演奏を繰り広げる。
所 在 地	静岡県沼津市
H P ア ド レ ス	https://kanogawa.wixsite.com/tops
Mail:figracing@nifty.com	Tel 090-1298-4487

目的と背景

ミュージシャンが演奏する場の多くは、その演奏を聴くことを目的としたライブハウスであったり、コンサートホールといった、クローズドな場所であるため、その活動を知らない一般の人との接点がほとんど存在しない。

2015年頃、沼津リバーサイドホテルの河川敷にある狩野川「風のテラス」で「水辺のステージ」として音楽コンサートなどの利用ができることを知り、これは一般の人に聴いてもらえるチャンスではと、機材や運営スタッフなどが何も無い状態で、音楽仲間数人とスタートした。

当初は「まちづくりファンド」などの補助制度が全く無かったため、最小構成の機材などを自腹で調達し運営にあたったが、観客とする一般の人をどう集めるか、またプロ活動をしている演奏者に、どう無料参加を納得してもらうかなど苦慮した。

そこから数年が過ぎた頃、まちづくりファンドの存在を知り採択され、スタッフの確保、良い音を提供するための充実した機材のレンタル、狩野川ミュージックフェスタを広めるためのチラシ作りなどを経て、徐々にその活動を拡大することができた。

その結果、今では静岡県東部にとどまらず、各地から演奏を希望するミュージシャンが集まるイベントになり、それに加えて飲食関係の出展者も確保でき、安定した活動が行えるようになった。

実施概要

年2回、5月と10月に開催した。

5月の開催では12グループ、10月の開催では14グループの演奏者が出演した。

集客は1日を通して5月は500名、10月は700名となり、第1回めの開催から約4倍ほど観客を集めることができた。

方法・スケジュール

イベント名: 狩野川ミュージックフェスタ VOL.11

開催日: 2019年5月26日

開催場所: 狩野川 風のテラス/水辺のステージ

開催内容: プロ、アマ、ミュージシャンを集めた無料の音楽イベント

参加者: ポスターへ記載

参加人数: 46

集客数: 約500名



イベント名: 狩野川ミュージックフェスタ VOL.12

開催日: 2019年10月6日

開催場所: 狩野川 風のテラス/水辺のステージ

開催内容: プロ、アマ、ミュージシャンを集めた無料の音楽イベント

参加者: ポスターへ記載

参加人数: 58

集客数: 約700名



事業効果

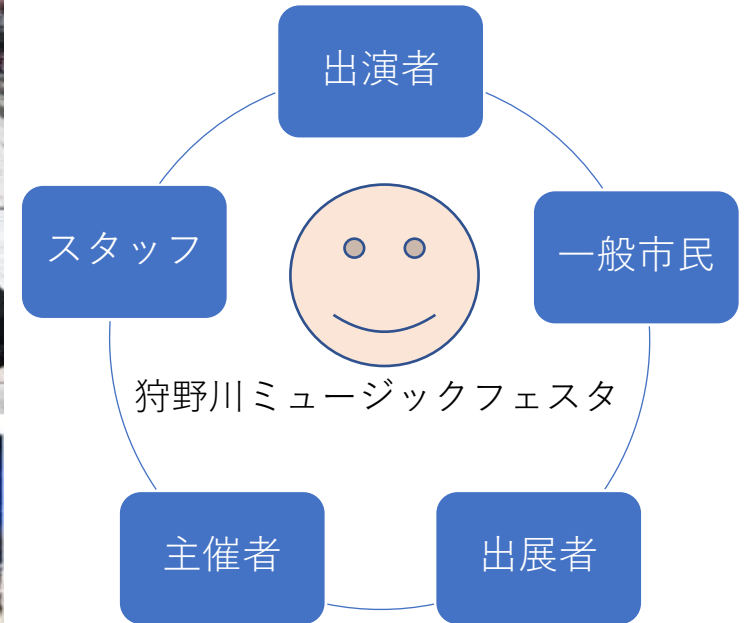
県内や県外からのプロ・アマミュージシャンに、一般市民との繋がりを提供し、その演奏内容や活動を知ってもらうことができた。

また、市民からの曲リクエストに応えるため、前回のコンサートで聞き取り調査や電話でのリクエストを受け、次回のコンサートでリクエスト曲を披露できるミュージシャンを募った。

その結果として10月の狩野川ミュージックフェスタでは、子供達に人気のある「パプリカ」を演奏して大いに盛り上がった。

人が集うことによって飲食関係の出店もあり、飲みながら、食べながら音楽を自由に楽しめる環境が提供できた。

パプリカで盛り上がる観客と子どもたち



今後の課題・これからの展望・自己評価

まちづくりファンドが利用できる3年間を終え、次回からはすべて自費で開催することになる。

それで負担になるのは様々なレンタル費やスタッフ確保となるが、参加者や聴衆が増えたことにより、飲食関係だけではなく、手作り市などと併催し、出展料を集めて主催する費用を捻出する。

そのためには、より一層一般市民を呼び込むための告知が必要であり、ホームページ、FacebookやTwitterなどを活用して広める予定である。

街の賑わいを活性化する活動としては、成功を収めたのではないかと自負する。

狩野川ミュージックフェスタのホームページ

